

ビデオプロジェクタのご利用について

接続方法

主催側で準備・手配

当日お持ちのコンピュータ



拡大



D-Sub 端子 (ディーサブたんし) メス
この形のコネクタへ接続します。

□ や □ などの表示があります。

※これ以外の端子を持つ機器をご使用になる場合には、D-Sub 端子へ変換するコネクタを必ずご用意ください。

会館で備えているもの

※ご利用になるホール、投影する場所によりビデオプロジェクタの機種が異なります。
(下図例は小ホールで客席から投影する場合です。)



D-Sub 端子オス



D-Sub 端子オス

接続ケーブル × 1本

複数の演者がいて、複数のコンピュータを入れ替えながら使うケースについては、『つなぎ替えたら映らなかった。』というトラブルが生じることもあります。舞台の進行をスムーズに行うためにも、1台のコンピュータにデータをまとめてしまうことをおすすめします。

ご案内

機器の相性等で映らない場合もありますので事前に確認しておくこと
ご利用当日の作業がスムーズです。

事前確認の一例

当日お持ちのコンピュータ



D-Sub 端子メス

D-Sub 端子オス



D-Sub 端子オス



D-Sub 端子メス



D-Sub 端子メス

接続したディスプレイとコンピュータの両方で映像が出ることをご確認ください。

※どちらか一方しか表示しない場合は、コンピュータ側の設定で不具合があると考えられます。その際には設定の変更、もしくは別のコンピュータをつないでみてください。

ご不明な点はお問合せください。

長野県伊那文化会館

電話 0265-73-8822 / ファクス 0265-73-8599